

<認知症対応型共同生活介護用>

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	4673000107
法人名	医療法人 誠心会
事業所名	グループホーム あったかハウス伊集院
訪問調査日	平成21年4月21日
評価確定日	平成21年5月21日
評価機関名	特定非営利活動法人 シルバーサービスネットワーク鹿児島

○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	4673000107
法人名	医療法人 誠心会
事業所名	グループホーム あったかハウス伊集院
所在地	日置市伊集院町下神殿1366-1 (電話) 099-272-7577
評価機関名	特定非営利活動法人 シルバーサービスネットワーク鹿児島
所在地	鹿児島市真砂町34番1号南光ビル303号
訪問調査日	平成21年4月21日

【情報提供票より】(平成21年3月25日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成13年12月15日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	14 人	常勤	14 人, 非常勤 人, 常勤換算 14

(2) 建物概要

建物構造	重量鉄筋造り		
	1 階建ての	1 階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	16,720 円	その他の経費(月額)	9,000 円
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	(有) (30,000円) 無	有りの場合 償却の有無	有(無)
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 800 円		

(4) 利用者の概要(3月25日現在)

利用者人数	18 名	男性	3 名	女性	15 名
要介護1	2 名	要介護2	3 名		
要介護3	8 名	要介護4	5 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 84.3 歳	最低	74 歳	最高	96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	ゆのもと記念病院 まえはらりハビリクリニック
---------	------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは周囲を山や畑に囲まれ、緑豊かな環境に位置している。母体が医療機関であることから、健康管理や必要な医療を随時受けられるなど、利用者およびご家族にとっては大いに安心できる体制である。日常的に散歩や買い物に出かけたり、地域の人々を招いての年中行事も多く、利用者にとっては何よりの楽しみ事となっている。管理者および職員は、ホーム内外での勉強会などを通して、常にサービスの質向上に一丸となって取り組んでいる。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価における改善課題は無い。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価の意義を全職員が理解した上で項目の評価に取り組み、その後管理者を含めて話し合いを行い、業務の見直しや改善が行われている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議は公民館長、民生委員、市担当者、地域包括支援センター職員、ご家族代表の参加を得て、2ヶ月に1回開催されている。会議ではホームの運営、活動、行事内容、外部評価結果などを報告すると共に、地域との関わりや役割について話し合わせ、出された意見はサービスの質向上に活かされている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	意見箱を設置し、定期的なアンケート調査も行っている。面会時やイベント、家族会、運営推進会議等で意見や不満を聞く機会を作っている。苦情処理報告書が整備され、要求や予防、是正、回答などの対応を全職員で検討し、運営に反映させている。第三者委員会も設置している。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	ホームで開催される3ヶ月毎の地域交流会や季節のイベントに、老人会や地域の方々が多く参加されている。また、地区の運動会にも毎年参加しており、中学生の体験学習も受け入れるなど、地域の一員として交流に努めている。

2. 評価結果詳細

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	従来の基本理念に「あったか地域であったか交流、みんなで作ろうあったかの輪」を加え、地域との関係性を常に意識する理念が作られている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員全員が、理念を意識しながら日々のケアに取り組むように、朝礼で唱和を行っている。ミーティングや申し送りの際にも理念について話し合い、その意義を再確認して共有を図っている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ホームで開催される3ヶ月毎の地域交流会や季節のイベントに、老人会や地域の方々が多く参加されている。また、地区の運動会にも毎年参加しており、中学生の体験学習も受け入れるなど、地域の一員として交流に努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員で評価の意義を確認し合い、項目毎に問題点を抽出した上で、改善策や取り組み方まで話し合っている。外部評価で指摘された課題についても、改善に向けて検討し実践している。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は公民館長、民生委員、市担当者、地域包括支援センター職員、ご家族代表の参加を得て、2ヶ月に1回開催されている。会議ではホームの運営、活動、行事内容、外部評価結果などを報告すると共に、地域との関わりや役割について話し合われ、出された意見はサービスの質向上に活かされている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議への出席はあるが、日頃は事務手続きなどの窓口対応に止まっている。	○	市の担当者にはホームの実態を詳しく知ってもらことや、より良い関係作りのためにも、訪問する機会を増してもらおうように積極的な働きかけが期待される。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	「あったか便り」を発行しており、行事案内やお知らせを掲載している。利用者毎に担当者が決まっており、日々の暮らしぶりや健康状態について、写真を同封するなどして報告している。金銭管理については、面会に来られた際に確認してもらいサイン等をいただいている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置し、定期的なアンケート調査も行っている。面会時やイベント、家族会、運営推進会議等で意見や不満を聞く機会を作っている。苦情処理報告書が整備され、要求や予防、是正、回答などの対応を全職員で検討し、運営に反映させている。第三者委員会も設置している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	各ユニット毎に職員を固定しており、家庭的な雰囲気の中で、馴染みの職員によるケアを継続して受けることができる。この数年、異動や退職は無く安定している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間研修計画に基づき、毎月テーマを決めて勉強会を行っているほか、法人内外の研修にも多くの職員が参加しており、報告書により情報・知識の共有を図っている。資格取得に向けた支援体制も整っており、職員は意欲的に挑戦している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地区のグループホーム連絡協議会やケアマネジャー協議会、研修会などに参加している。法人内7ヶ所のグループホームで月1回研修会を開催しており、サービスの質向上に努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に本人およびご家族に見学してもらい、お茶を飲みながら会話したりレクリエーションに参加していただくなどしている。入居後も、できるだけ早くホームに馴染んでもらえるように、職員は意識的に係わる配慮をしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	野菜作りや漬物、干し大根作り、郷土料理などを利用者から教わりながら、共に助け合い、労い、分かち合う関係づくりに取り組んでいる。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の思いや暮らし方の希望、意向などは、日々の生活の中で把握するように努めている。意思表示の困難な方の場合、ご家族などから得られた情報を職員間で共有して、希望に沿った支援ができるようにしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画作成時は、利用者およびご家族、かかりつけ医や看護師などから希望や意見を聴取している。また、毎日の申し送りやミーティングで職員が意見を出し合い、モニタリング表からも情報を取り入れながら作成している。計画作成後は、ご家族に説明して同意を得ている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的な見直しは6ヶ月毎に行っている。独自のモニタリング表および毎日の記録からの情報や、状態に変化があった場合などは、現状に即してその都度見直しを行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療連携体制が整備され、利用者の状態に応じた受診や入院、入院回避など適切な医療が受けられる仕組みがある。また、通院や外出介助、訪問理容などの利用支援も行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者およびご家族の希望するかかりつけ医となっている。受診時は職員も付き添い、日頃の状態を報告するなどして、かかりつけ医との連携を図っている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	「看取りに関する指針」を入居時に説明している。意思確認書を作成し、状態に変化がある場合はその都度、利用者およびご家族、かかりつけ医、看護師、職員などの関係者で話し合い方針を共有している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	言葉遣いや対応が、利用者の誇りやプライバシーを損なわないように、接遇や個人情報保護法について研修を行い、意識の向上を図っている。面会簿は個別に準備され、個人に関する記録物も適切に管理されている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れはあるが、利用者のペースや生活習慣を大切に、希望に沿った支援を行う体制を整えて対応している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理の準備や片付けなど、利用者と職員が会話しながら一緒に行っている。職員の自宅で採れた野菜や、ホームの菜園で収穫した野菜が食卓に上がることも多い。利用者が自分の副食を職員に分けてあげるなど、家庭的な雰囲気の中で食事を楽しんでいる。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は特に決めておらず、入りたい日、入りたい時間に入浴を楽しめるように柔軟な対応がなされている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の生活歴やアセスメント、日々の生活の中から得意な事、好きな事を見出し、一人ひとりの能力が活かされるような場面作りがなされている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の希望や天候を見ながら、買い物やドライブ、散歩などを行っている。車椅子の方も、日常的に庭に出て気分転換ができるように支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は居室、玄関とも施錠することなく開放されている。職員は利用者の外出パターンを把握しており、外出時は付き添うなどして安全に配慮しながら、鍵をかけずに自由に入出りできるケアに取り組んでいる。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回、消防署の協力を得ながら、様々な想定のもとで防災訓練を行っている。自治会長や民生委員、ご家族なども訓練に参加しており、緊急時の連絡網には自治会長も入っていただき、近隣の方々の協力が得られる体制になっている。食料、飲料水の備蓄も行われている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立は栄養士が作成している。特別食に加え、一人ひとりの咀嚼力や嗜好を把握して、それぞれに合わせた調理法が工夫されている。食事および水分の摂取量は個々に記録されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロアには、利用者と職員が一緒に作った季節感のある作品が飾られている。畳のスペースは居心地の良い雰囲気があり、天窓からは自然光が豊富に差し込んでいる。夏場は、簾を利用して光や温度を調節している。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベッドとタンスは備え付けであるが、その他の家具や小物類は、利用者の使い慣れた物が持ち込まれている。思い出の写真や好きな絵、花、キャラクターグッズなどが飾られ、居心地良く過ごせる工夫がなされている。		